

第4回 地元協議会

令和5年3月19日（日）
10時 開催

多摩ニュータウン環境組合

定例報告（第1部）

- 1 令和4年度多摩清掃工場の運営について
- 2 令和4年度リサイクルセンター運営状況について
- 3 令和5年度予算概要について
- 4 令和5年度の事業予定について
- 5 その他
 - （1）多摩地域における宿泊療養施設におけるごみ処理広域支援について
 - （2）清掃工場を活用した災害時活動拠点計画について
 - （3）中期経営計画「ビジョン2027」について
- 6 質疑応答

連絡調整（第2部）

- 1 多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針について
- 2 最新施設の視察研修について
視察先の候補について
- 3 今後の予定

定例報告

1 令和4年度 多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組み

➤ 環境について

- ・ ISO14001の適切な運用

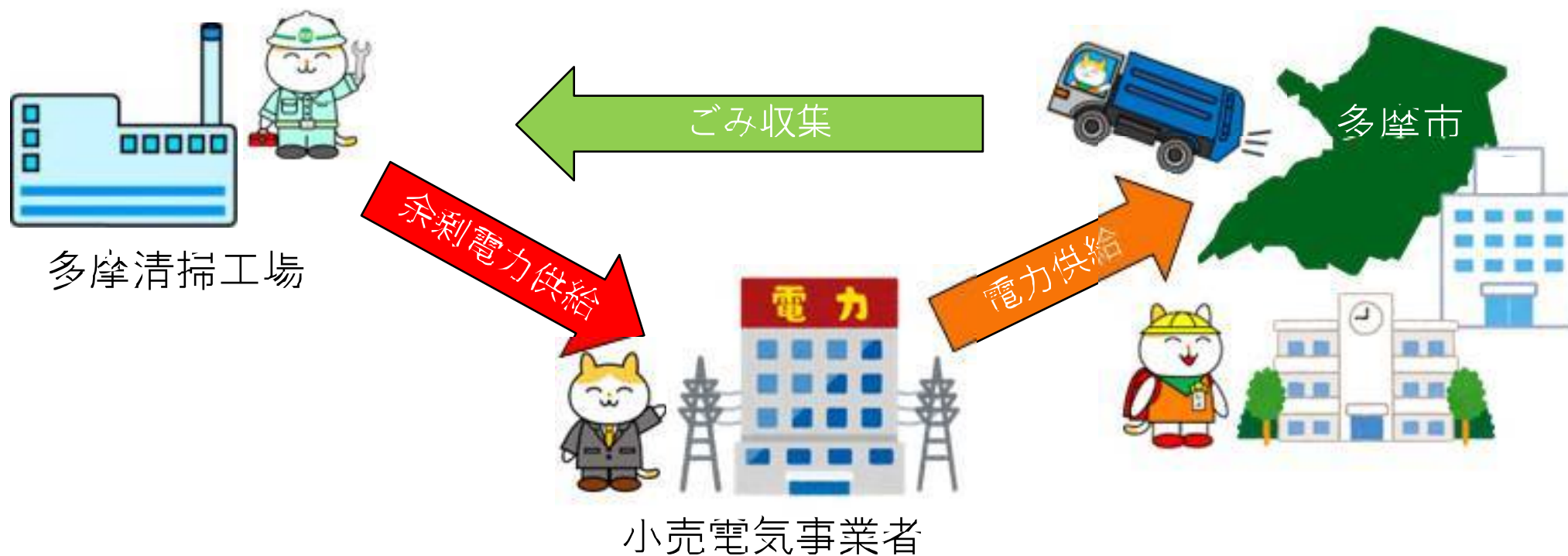


外部審査員による定期審査を毎年実施しており、環境マネジメントシステムが有効に機能していることが認められました。

➤ 電力の地産地消について

多摩清掃工場で発電された電気は、ごみ焼却の副産物であるため、二酸化炭素の排出量は実質ゼロとなります。令和4年度より多摩市と連携して、工場で発電された電気を多摩市内の45の公共施設に供給を開始しました。

これにより、多摩市の「地球温暖化対策」に貢献できました。



➤ 不燃・粗大ごみ処理棟自動火災報知設備改修工事が完了

これまではアナログ盤で、発報すると複数のスイッチを操作していましたが、1画面の操作で完結するデジタル盤にすることで誤操作や誤判断を防ぎ、緊急時における施設の安全性が高まりました。



改修前



改修後

➤たまかんニュース

- ・年2回 各回約65,000部発行
(新聞折込)
- ・地域版年2回 各回約3,300世帯
(ポスティング)

➤学校・一般等の施設見学会の実施

- ・43団体 1,146人参加

➤第3回地元協議会の実施

- ・令和4年 8月21日(土)

多摩ニュータウン環境組合

第39号

令和5年1月発行

たまかんニュース

多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場の協賛で
環境にやさしい安全で開かれた多摩新工場

「煙突登りにチャレンジ!」開催

世帯の煙突登り研修は、町民の安全意識を高めるためです。環境工場や新工場とつながり、安全なまちづくりを推進します。

※開催日時：令和5年1月20日(土) 10:00～12:00
※開催場所：多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場
※参加費：無料(参加費は別途あり)

※申し込み方法：1月15日(金)まで電話予約
※お問い合わせ：042-781-1111(多摩ニュータウン環境組合)

電力地産地消の取組み

発電された電気を多摩市内の施設に活用しています。

※開催日時：令和5年1月20日(土) 10:00～12:00
※開催場所：多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場
※参加費：無料(参加費は別途あり)

白樹消防操法大会優勝

令和4年11月28日、白樹消防操法大会で優勝しました。

※開催日時：令和5年1月20日(土) 10:00～12:00
※開催場所：多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場
※参加費：無料(参加費は別途あり)

工場にエコセンサー

工場にエコセンサーを設置し、エネルギーを削減しています。

※開催日時：令和5年1月20日(土) 10:00～12:00
※開催場所：多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場
※参加費：無料(参加費は別途あり)

エコにエコセンター

エコにエコセンターを開催し、環境意識を高めています。

※開催日時：令和5年1月20日(土) 10:00～12:00
※開催場所：多摩ニュータウン環境組合・多摩環境工場
※参加費：無料(参加費は別途あり)

➤地域交流事業の実施

・令和4年10月16日

『たまかんフェスタ』

（来場者 約4,000人）



➤煙突登りにチャレンジ

・令和5年1月30日～2月5日

（参加者 66人）



➤クリーンアップ作戦

組合職員及び工場運転管理受託者職員による、
工場周辺美化活動(12月を除く毎月第3水曜日)

➤唐木田クリーンアップ作戦2022

令和4年12月27日(火)開催
19団体 99名の参加

➡ 23.05kgのごみを収集



(2) 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況

町田市からの「応援ごみ」受入れ状況

ごみ処理応援協定に基づき、町田市より応援ごみを受入れました。

◇受入期間 令和4年 2月21日から4月26日まで

ごみ種 可燃ごみ 248.63 t 不燃ごみ 356.19 t

受入理由 令和4年2月21日、町田市バイオエネルギーセンター不燃粗大ごみ処理施設のごみピット内で火災が発生し、ごみ搬入と処理が停止したため。

◇受入期間 令和4年 6月21日から7月26日まで

ごみ種 不燃ごみ 131.36 t

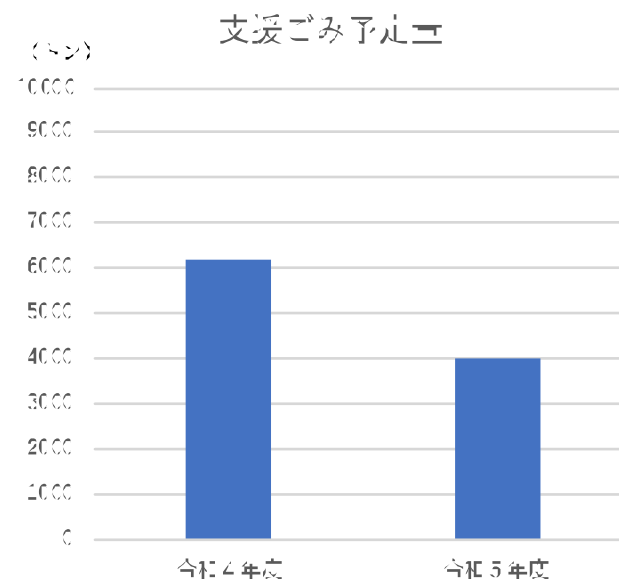
受入理由 令和4年6月11日、上記不燃粗大ごみ処理施設のベルトコンベヤ上で火災が発生したため。

(3) 町田市の可燃ごみ処理支援について

町田市の可燃ごみ処理支援実績（今後は減少傾向）

令和5年1月末現在：5,878トン

支援期間：令和4年4月～令和8年3月
（年間最大10,000トン上限）



町田市のごみ減量に向けた取組

市民・事業者への啓発強化、新たな品目の資源化など

毎年度、ごみ減量及び資源化の進捗状況と今後の見通しを報告します。

(4) 環境測定結果

排出ガス調査 (ばい煙等)

年 度		令和4年度					
測定年月日		R4.5.20	R4.7.12	R4.9.12	R4.11.7	R5.1.6	R5.3.6
ばいじん	測定濃度 [g/m ³]	3号炉 <0.001	2号炉 <0.001	2号炉 <0.001	3号炉 <0.001	3号炉 <0.001	2号炉 分析□
	規制基準値 [g/m ³]	法規制値：0.08 自主規制運用値：0.02					
硫酸酸化物	測定濃度 [ppm]	11	12	6	6	5	分析□
	排出量 [mg/h]	0.67	0.71	0.38	0.34	0.28	分析□
	排出基準値 [mg/h]	89.3	92.4	93.9	89.3	90.9	分析□
	自主規制運用値 [ppm]	自主規制運用値：20					
窒素酸化物	測定濃度 [ppm]	42	24	34	40	36	分析□
	規制基準値 [ppm]	法規制値：250 自主規制運用値：56					
塩化水素	測定濃度 [ppm]	24	17	20	10	20	分析□
	規制基準値 [ppm]	法規制値：430 自主規制運用値：25					
全水銀	規制基準値 [μg/m ³]	4.4	8.9	21	8.1	0.32	分析□
		法規制値：50					

排出ガス調査（ダイオキシン類）

単位：ng TEQ/m³

令和4年度					
測定炉	排出基準	R4.4.25	R4.7.11	R4.10.3	R5.1.10
2号炉	法規値： 自主規制値月恒：0.01	休炉中	0.00081	0.000042	休炉中
3号炉		0.0012	休炉中	休炉中	0.00019 (速報値)

大気中のダイオキシン類調査

単位：pg TEQ/m³

年 度	調査名称		調査地点				環境基準
			からさだの道	口坂公園	山口緑地	別所公園	
令和4年度	焼却炉稼働時	夏期調査 (7/8～15)	0.0097	0.011	0.011	0.0098	0.6
		冬期調査 (1/6～13)	分析中	分析中	分析中	分析中	
	年平均値（稼働時）		0.0097	0.011	0.011	0.0098	
	焼却炉停止時調査 (1/16～23)		分析中	分析中	分析中	分析中	

放射能調査

年度		令和4年度	
測定項目		直近測定値 (2月)	最小値 ~ 最大値
排出ガス	放射能濃度 (単位：Bq/m ³ _N)	不検出	不検出
焼却灰	放射能濃度 (単位：Bq/kg)	不検出	不検出 ~ 11.2
飛灰		41.6	39.9 ~ 78.3
敷地境界	空間放射線量率 (単位：μSv/h)	0.08	0.05 ~ 0.10

不検出とは・・・その分析方法で対象物質が検出できる最低濃度のことです。

排出ガスの基準： $\left\{ \left(\text{セシウム134 の濃度} \div 20 \right) + \left(\text{セシウム137 の濃度} \div 30 \right) \leq 1 \right\}$

焼却灰と飛灰固化物の基準値：8,000 Bq/kg

調査義務の免除に係る確認：令和4年10月6日（関東地方環境事務所長）

2 令和4年度リサイクルセンター運営状況について

○20周年記念事業

令和4年度の
主な事業



○粗大ごみの汗圧



○講座の実施



○食器リサイクル事業



○イベントの実施



くるくるカレンダー



令和 5 年度の事業予定

拡大

着なくなったこども服集めます!
および 頒布会の実施

推進

食器リサイクル交流会の開催
情報交流イベントの実施

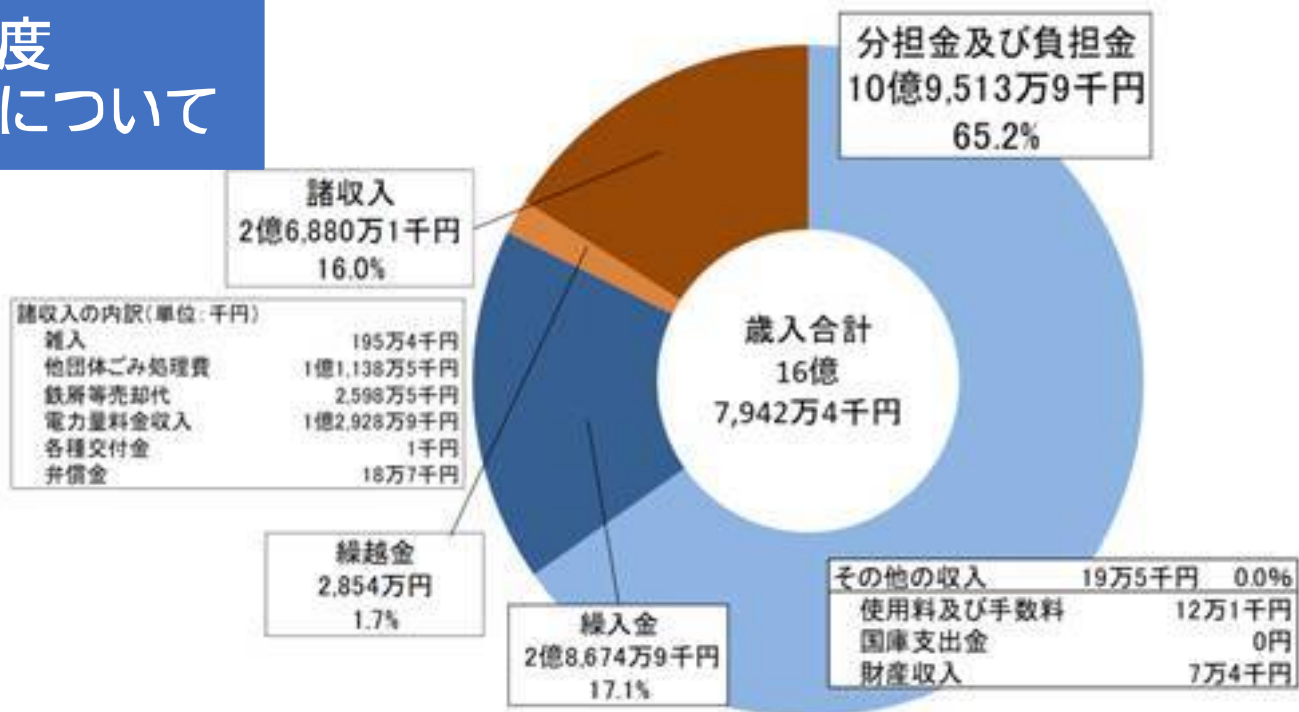
新規

こどものための工作教室
3R講座として実施

その他 今年度の事業を継続実施

3 令和5年度 予算概要について

歳入



(単位:千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	1,095,139	65.2	935,340	64.2	159,799	17.1
2 使用料及び手数料	121	0.0	121	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	0	0.0	1	0.0	△ 1	△ 100.0
4 財産収入	74	0.0	68	0.0	6	8.8
5 繰入金	286,749	17.1	91,781	6.3	194,968	212.4
6 繰越金	28,540	1.7	31,280	2.1	△ 2,740	△ 8.8
7 諸収入	268,801	16.0	399,171	27.4	△ 130,370	△ 32.7
計	1,679,424	100.0	1,457,762	100.0	221,662	15.2

歳入予算の主なもの －（対前年度比較）－

○負担金

10億9,513万9千円で、1億5,979万9千円の増（17.1％増）

【構成市別負担金内訳】

- ・ 八王子市 3億9,632万8千円（36.2％）
- ・ 町 田 市 1億5,541万2千円（14.2％）
- ・ 多 摩 市 5億4,339万9千円（49.6％）

○繰入金

2億8,674万9千円（1億9,496万8千円増）

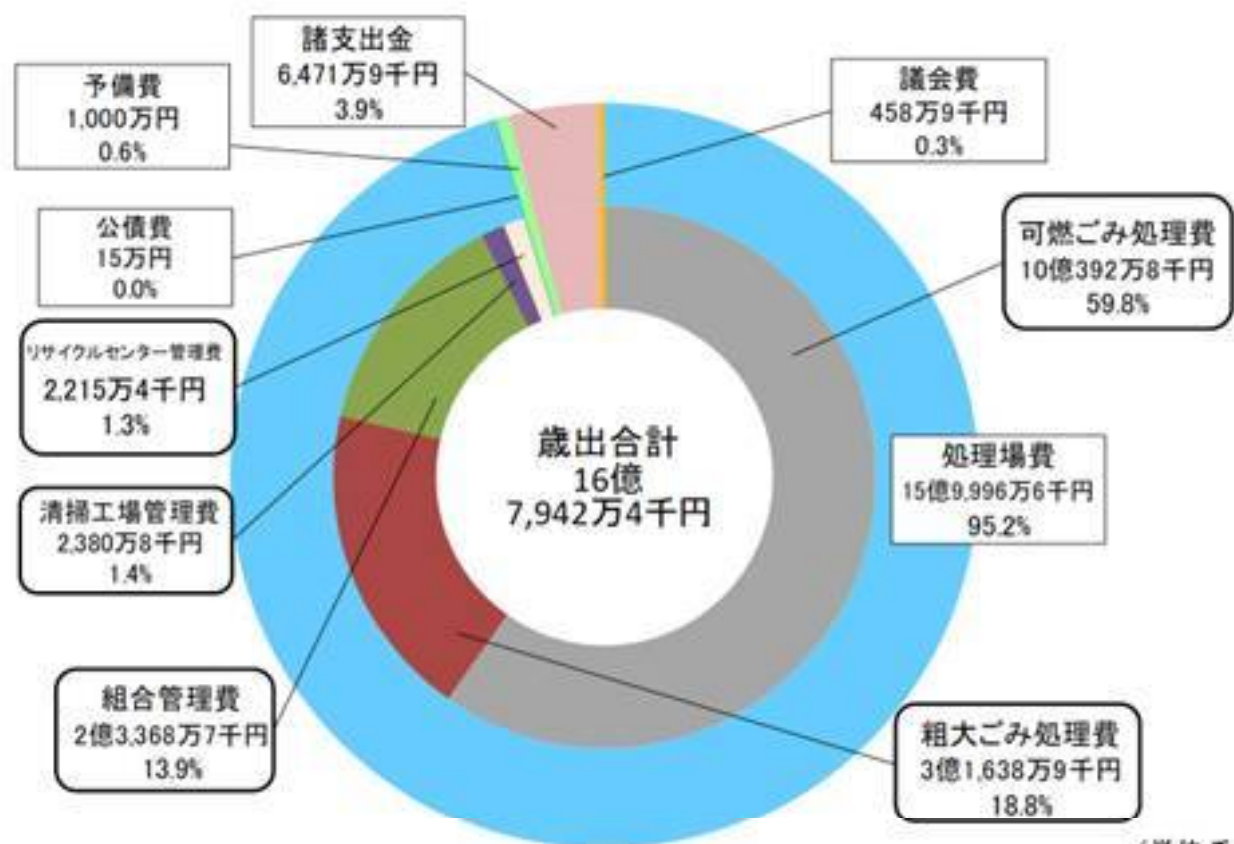
- ・ 施設整備基金繰入金 2,322万2千円（工事への対応）
- ・ 財政調整基金繰入金 2億6,352万7千円（財源調整）

○諸収入

2億6,880万1千円（1億3,037万0千円減）

- ・ 町田市支援ごみ処理費 1億1,138万4千円（1億6,861万6千円減）
 ※町田市支援ごみ処理費は、ごみ搬入量が確定次第、補正予算で対応予定
- ・ 売電収入 1億2,928万9千円（2,692万9千円増）

歳出



(単位:千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	4,589	0.3	5,227	0.4	△ 638	△ 12.2
2 処理場費	1,599,966	95.2	1,391,162	95.4	208,804	15.0
3 公債費	150	0.0	125	0.0	25	20.0
4 予備費	10,000	0.6	10,000	0.7	0	0.0
5 諸支出金	64,719	3.9	51,248	3.5	13,471	26.3
計	1,679,424	100.0	1,457,762	100.0	221,662	15.2

歳出予算の主なもの ー対前年度比較ー

○議会費

- ・議会費は視察費用の減少により前年度比63万8千円の減少

○処理場費

- ・組合管理費は組合採用職員の補充、電気自動車購入により前年度比の1,223万6千円増加
- ・粗大ごみ処理費は工場運転等管理業務委託の更新や機器補修工事、火花検知システム設置工事の実施により前年度比4,867万1千円の増加
- ・可燃ごみ処理費は光熱水費の単価上昇や工場運転等管理業務委託の更新、機器補修工事の実施により前年度比1億4,944万9千円の増加
- ・リサイクルセンター管理費は20周年事業が令和4年度に完了したことにより前年度比164万8千円の減少

4 令和5年度の事業予定について

➤多摩清掃工場周辺のクリーンアップ作戦

・毎月第3水曜日 9時～

組合職員、工場運転管理受託者職員による多摩清掃工場周辺の道路、公園等のごみ拾いを実施

➤地域交流事業（たまかんフェスタ）

・令和5年10月15日（日）実施予定

からきだ菖蒲館、多摩市社会福祉協議会、大妻女子大学と連携した多摩清掃工場を地域の皆様に開放したイベントを実施

➤地域交流事業（唐木田クリーンアップ作戦）

・令和5年12月25日（月）実施予定

多摩清掃工場周辺の児童館、市民、事業者の皆様と実行委員会形式でイベントを企画し、清掃活動を通じて顔が見える関係を構築

5 その他

(1) 多摩地域における宿泊療養施設のごみ処理広域支援について

東京都で運営している新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設から排出されるごみの処理について、処理を行っている多摩川衛生組合が定期修繕の間、処理ができなくなるため、多摩清掃工場で処理を行いました。

受入れ期間

令和4年6月3日 から 6月29日まで

搬入量 事業系一般廃棄物 2, 300 k g

令和4年10月17日 から 10月21日まで

搬入量 事業系一般廃棄物 1, 000 k g

(2) 清掃工場を活用した災害時活動拠点計画について

1 経過

東京都では、大規模災害時(首都直下地震や多摩直下地震)に災害応急対策を実施する他県からの救出救助機関、具体的には警察や消防、災害派遣医療チームのDMATなどの部隊がその活動を円滑に展開できるように、清掃工場を活動拠点の候補地として、各施設管理者と順次、協定締結等を進めています。

多摩清掃工場もその候補地の1つとして東京都地域防災計画上でも位置づけられており、多摩ニュータウン環境組合では令和4年3月25日付で東京都と「災害時における施設使用等に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき令和4年11月に「清掃工場を活用した災害時活動拠点計画」を東京都との間で策定しました。

2 計画の主な内容

- 救出救助部隊が使用する活動拠点や休憩・休息の場所(多摩清掃工場の会議室や廊下など)の設定
- 災害時活動拠点開設に必要な資機材(無線機)、被服、ヘルメットなどの常時の保管
- 実際に使用する際の手続き方法 等

(3) 中期経営計画ビジョン2027について

経営方針	目 標	取組項目	取組内容
 環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場	1 安全で持続可能な循環型社会の推進    	(1) 効果的な廃棄物の削減	① 長期修繕計画の更新・実施 ② エコセメント化施設更新時の対応
		(2) 高稼働の安定・継続確保	③ リチウムイオン電池の取組検討 ④ 効果的な薬品の検討 ⑤ 運転管理業務委託の内容及び業務の効率化の検討
		(3) 危機管理体制の強化	⑥ 緊急停止時対応計画の更新 ⑦ 災害時における施設活用方法の検討
		(4) 資源・エネルギーの有効活用	⑧ 電力の有効活用 ⑨ 二酸化炭素削減・省エネ化の取組の推進 ⑩ EV導入の検討
	2 効率的で開かれた組合運営の推進      	(5) 効果的な人材活用の推進	⑪ 人材育成方針に基づく効果的な研修の展開 ⑫ 人事計画の見直し
		(6) 効率的な事務執行の推進	⑬ 事務システムの見直し ⑭ 契約事務の見直し ⑮ 組合独自の法人事業の検討
		(7) ニーズに即した調査事業と情報発信	⑯ 情報発信の充実 ⑰ リサイクルセンター運営事業の展開
	3 地元住民・様成市との連携の推進   	(8) 地元住民との関係強化	⑱ 地元協議会の運営 ⑲ 地域交流事業の実施
		(9) 様成市との相互協力の推進	⑳ 様成市イベントへの参加 ㉑ 工場連絡会の充実 ㉒ 広域化・集約化の検討
		(10) 新施設に向けた準備・検討	㉓ 新施設に必要な各種計画の作成準備

6 質疑応答

連絡調整

1 多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針について

基本方針の主な内容

- 新しく建設する焼却施設の稼働時期
令和15(2033)年度から令和18(2036)年度
⇒ 具体的な時期は令和6(2024)年3月までに決定
- 新施設の処理能力及び機能等
処理区域における将来のごみ発生量 +
災害時等に発生が想定される災害廃棄物を処理できる能力
機能について
最新技術による環境負荷の低減／廃棄物エネルギーの利活用
災害に強い施設／地域に親しまれ、環境・エネルギー等について学べる拠点
- 基本方針の見直し条件
国の補助金等の交付金要件の変更
処理区域の広域化・施設の集約化等による構成市基本計画等の変更



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針について

基本となる考え

- 「環境負荷の低減」と「滞りのない廃棄物処理」を最優先
- 施設停止を伴う延命化工事を行わず、現施設を稼働しながら新施設を建設する。

基本方針策定の経過

- 令和4年10月14日 兼任職員会議で承認を得た。

兼任職員会議:構成市(八王子市・町田市・多摩市)と多摩ニュータウン環境組合の部課長で行う会議

- 令和4年10月25日 正副管理者会議で承認を得た。

正副管理者会議:構成市の市長が務める管理者・副管理者で行う会議

- 令和4年11月1日

「多摩清掃工場の施設老朽化対応の基本方針」策定



1 多摩清掃工場施設老朽化対応の基本方針について

和暦	西暦	現施設		一般的な新施設稼働に向けた準備			
		経過年	内容	準備年	内容		
平成10	1998	0年目	現焼却施設竣工	10年前	基本方針の策定		
平成26	2014	16年目	延命化工事を実施			8年前	建設計画書の作成 基本計画の策定・実施計画の策定 環境影響評価の手続き
平成28	2016	18年目					
令和04	2022	24年目		7年前	機種選定・工事発注・契約		
令和05	2023	25年目	一般的な焼却施設の寿命	6年前			
			10年程支の延命化	5年前			
				4年前			
令和08	2026	28年目		3年前	実施設計・施工 姿完成 試運転・教育訓練 事後調査報告書		
令和09	2027	29年目		2年前			
令和10	2028	30年目		1年前			
				0年前	新施設の稼働		
令和14	2032	34年目					
令和15	2033	35年目	新焼却施設の稼働時期の目安				

清掃工場の整備には、各種事前調査、解体、建設工事、事後調査等、一連の工程に10年近い年数を要する。

このため、新焼却施設の稼働時期の目安となる令和15(2033)年の約10年前である今年度に基本方針を策定した。

2 最新施設の視察研修について

研修目的：最新のごみ処理施設の機能や、取り巻く環境の知識や感覚を共有し、次期処理施設の環境・防災・地域を支える機能について、組合と地域の方々と話し合う材料としたい。

研修時期：令和5年度から 毎年3月頃に実施

視 察 先：最新の環境性能や防災拠点等を備えたごみ処理施設

対 象 者 自治会・管理組合の方ならどなたでも（定員40名程度）

視察項目：処理性能（処理方式や設備の差異、エネルギー利活用、環境性能）、防災機能、見学者設備、一般向けのスペース（環境学習コーナー、貸し会議室、休憩所、煙突展望台、屋上緑化） など・・・

➡毎年、視察項目を変えて様々な視察先を検討する。

(参考資料)

令和5年度 視察先候補（案）

- ① 八王子市館クリーンセンター
- ② 町田市バイオエネルギーセンター

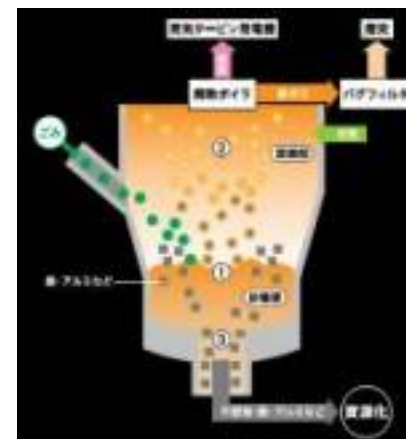
【令和5年度 視察項目案】

組合構成市が所有する、令和4年に稼働を開始した最新施設の
処理性能・処理方式を視察する。

視察先候補① 八王子市館クリーンセンター



- ・流動床式ガス化焼却炉を導入し、国内最高水準の熱回収技術によりカーボンニュートラルの高効率発電を実現。
- ・公害防止設備を備え、見学スペースや「自然観察の森」を活用し環境学習やコミュニティの場として親しまれている。



- 所在地：八王子市館町2700番地
- 稼働開始：令和4年
- 延床面積：約5,507㎡（工場棟）
- 処理能力：焼却 160 t / 日（80t/日×2炉）
流動床式焼却方式

視察先候補② 町田市バイオエネルギーセンター（愛称：バイエネ君）



- ・曲面の屋根やガラスカーテンウォールにより、来場者に先進的・開放的な印象を与える施設デザイン。
- ・ごみを燃やして発生する蒸気のほか、生ごみを発酵させて得られるバイオガスを利用した高効率発電を行っている。

- 所在地：町田市下小山田町3160番地
- 稼働開始：令和4年
- 延床面積：工場棟 約17,000㎡ 管理棟 約5,200㎡
- 処理能力：焼却施設 258 t / 日 (129t/日 × 2炉)
バイオガス化施設 50 t / 日
不燃粗大 47 t / 5h (機械・手選別)



バイオガス発電機



ゲートパーク



多様な見学者設備

3 今後の予定

- ・ 令和5年6月 令和5年度地元協議会委員選出依頼
第5回地元協議会日程調整
- ・ 令和5年8月 《第5回地元協議会》開催
定例報告：多摩清掃工場 令和4年度運営実績
連絡調整：施設老朽化対応の進捗、視察研修の調整 など
- ・ 令和5年12月頃 視察研修の調整、参加者名簿提出依頼 など
- ・ 令和6年3月 《視察研修》開催
八王子市館クリーンセンター 又は 町田市バイオエネルギーセンター ハ

地元協議会は以上で終了となります。

**お忙しい中、ご出席いただき、
ありがとうございました。**